

平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 9 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 25 年 9 月 20 日に鳥類調査を実施した。天気は快晴～晴、気温 27.2～26.1℃、南～南南西の風、風速 2.5～2.9m/s であった。当日は大潮で、潮位は 11 時 21 分 干潮 (53cm)、17 時 24 分 満潮 (207cm) であった (気象庁東京検潮所)。各地点の状況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	9:50-11:00	13:25-14:15	12:20-12:55
天候	快晴	晴	快晴
気温(℃)	27.2	26.8	26.1
風向	南	南南西	南
風速(m)	2.6	2.5	2.9
備考	干潟が広く干出し、水溜りが多くできていた。	砂浜で水遊び、散策する人(33人)、船着き場で観光、船を待つ人(45人)、磯浜で休息、釣りをする人(15人)が見られた。	潮が満ちてきており、干潟の面積は最も広い状態の5割程度であった。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった鳥類上位2種	ウミネコ(1010羽) カワウ(352羽)	カワウ(282羽) ウミネコ(34羽)	ウミネコ(68羽) カルガモ(51羽)
その他の鳥類	カルガモ、オナガガモ、スズガモ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、バン、ムナグロ、シロチドリ、ホウロクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、サルハマシギ、オオセグロカモメ、ミサゴ、ハクセキレイ	カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、イソシギ、ハクセキレイ	オナガガモ、コガモ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、メダイチドリ、ソリハシシギ、イソシギ、ユリカモメ、オオセグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハクセキレイ
備考	<ul style="list-style-type: none"> 干潟の汀線際ではカワウ、ウミネコが多数休息。 波打ち際でサギ類が採餌、スズガモが水浴び。 干潟の水たまりで、カルガモ、サギ類、サルハマシギやムナグロなどのシギ・チドリ類が採餌。 干潟の木の杭でミサゴが休息。 重要種として、12種を確認(スズガモ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、バン、ムナグロ、シロチドリ、ホウロクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、サルハマシギ、ミサゴ)。 	<ul style="list-style-type: none"> 第六台場、鳥の島の樹上でカワウが休息。 カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギの成鳥、幼鳥が鳥の島の護岸で休息。 イソシギが護岸で採餌。 ウミネコが木の杭、海面などで休息。 重要種として、3種を確認(ダイサギ、コサギ、イソシギ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ウミネコ、ユリカモメ、カワウ、カルガモなどが干潟で休息。 サギ類、ソリハシシギやシロチドリなどのシギ・チドリ類が干潟で採餌。 トビが干潟で休息、魚の死骸をついばむ。 ミサゴが干潟の竹竿で休息。 重要種として、9種を確認(カンムリカイツブリ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、メダイチドリ、ソリハシシギ、イソシギ、ミサゴ、トビ)。

●出現種と個体数

No.	目名	科名	種名	調査時期 5月			調査時期 7月			調査時期 8月			調査時期 9月			重要種 選定基準									
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財保護法	種の保存法	環境省 RL 2012 鳥類	東京都 RL 2010 (区)						
1	カモ	カモ	カルガモ	5	7	8	9	11	8	17	1	15	7	5	51										
2			オナガガモ									1	1		1										
3			コガモ													4									
4			スズガモ	4			6				8			32						*					
			カルガモ雑種***				1																		
5	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	3			3			1				1					*						
6	カツオドリ	ウ	カワウ	102	666	84	210	1131	259	607	142	766	352	282	25										
7	ペリカン	サギ	ゴイサギ		1			2						7											
8			アオサギ	8	35	1	7	32	4	25	22	5	33	18	22										
9			ダイサギ	1	6			3	1	18	5	8	43	2	9					VU					
10			チュウサギ							2			3								VU				
11			コサギ	2	4	1	2	47	1	7	11	7	4	3	5					VU					
12	ツル	クイナ	バン										1							VU					
13	チドリ	チドリ	ムナグロ									1	5							VU					
14			ダイゼン							2											VU				
15			コチドリ	1		1				2												VU			
16			シロチドリ	8		5	4			2	29			6		2						VU			
17			メダイチドリ								5	24				1						NT			
18			ミヤコドリ	シギ	ミヤコドリ	26						9											EN		
19					オオツリハシシギ	1						1												VU	
20					チュウシャクシギ	2		1																	VU
21					ダイシャクシギ	1							1												CR
22					ホウロクシギ								1			1									VU
23					アオアシシギ											2									NT
24					キアシシギ		5	1						4		1									VU
25					ソリハシシギ										2			5							VU
26					イソシギ			2						1	4		2	1							VU
27	キョウジョシギ				4	1																	VU		
28	トウネン	1									1										NT				
29			サルハマシギ									1										CR			
30	カモメ		コリカモメ	2	2	28						2		21											
31			ウミネコ		2	1	17			2	684	22	112	1010	34	68									
32			セグロカモメ			1																			
33			オオセグロカモメ	2		1					40	2	1	28		1									
			大型カモメ*	1										11											
34			コアジサシ	42			3		13				2										国際		
35			アジサン	378																		EN			
36	タカ	ミサゴ	ミサゴ	1									1		1							NT			
37			タカ													4							NT		
38	スズメ目	セキレイ	ハクセキレイ					1					1	1	1										
確認種数	8目	12科	38種	19種*	10種	14種	9種***	7種	9種	17種	9種	15種	20種	9種	18種	0種	1種	6種	26種						
合計個体数				591	732	136	262	1227	292	1457	210	951	1543	354	223										

和名、種の配列は、日本鳥学会(目録編集委員会)(編) (2012)『日本鳥類目録改訂第7版』日本鳥学会に準拠した。

※: 大型カモメに分類されるセグロカモメ、オオセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数に数えない。

※※: カルガモとオナガガモの雑種と思われる個体。両種の特徴を持つ。確認種数には数えない。

種の保存法 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において指定されたもの

国際: 国際希少野生動物

環境省RL 環境省(2012)報道発表資料『第4次レッドリストの公表について(お知らせ)』において選定されたもの

VU: 絶滅危惧I類 絶滅の危険が増大している種

NT: 絶滅危惧II類 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧I類」に移行する可能性のある種

東京都RL 東京都環境局 (2010)「東京都の保護上重要な野生生物種(地域名)」の区部において選定されたもの

CR: 絶滅危惧IA類 ごく近い将来における野生での絶滅の危険が極めて高いもの

EN: 絶滅危惧IB類 IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU: 絶滅危惧II類 現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの

NT: 準絶滅危惧 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧I類」として上位ランクに移行する要素を有するもの

*: 留意種 現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため、上記カテゴリーには該当しないものの、留意が必要と考えられるもの

前回の調査(平成 25 年 8 月 19 日)と比べ、カワウの個体数は半減した。スズガモ、ウミネコ、ユリカモメの個体数は増加した。シギ・チドリ類の種数、個体数は共に減少した(平成 25 年 8 月 : 12 種 85 個体、平成 25 年 9 月 : 9 種 27 個体)(参考文献 1)。

昨年度(平成 24 年 9 月 4 日)の調査と比較すると、カワウの個体数は少なかった(平成 24 年 9 月 : 2032 羽、平成 25 年 9 月 : 659 羽)。シギ・チドリ類について、昨年度よりも種数・個体数が少なかった(平成 24 年 9 月 : 11 種 64 個体、平成 25 年 9 月 : 9 種 27 個体)。ウミネコについては昨年度と同様に、8 月から 9 月に個体数の増加が見られた(平成 24 年 8 月 : 780 個体 ⇒ 9 月 : 1408 個体)。(参考文献 2)

カワウについて、前回の調査(平成 25 年 8 月 : 1515 個体)、昨年の調査(平成 24 年 9 月 : 2032 個体)よりも確認個体数が少なかった(平成 25 年 9 月 : 659 個体)。船で調査地点を移動中に、貯木場の堤防や構造物、その他の海上構造物などで休息するカワウを多数確認しており、調査地点以外の東京湾の様々な場所を利用していたため、確認個体数が少ないと考えられる。

シギ・チドリ類の、北の繁殖地から南の越冬地へ向かう秋の渡りは、7 月頃から始まり、8 月を最盛期に種類・個体数が増え、9 月頃から徐々に種類・個体数が減り、10 月にはほとんどいなくなる(参考文献 3、4、5)。種ごとの繁殖状況、気候の状況などにより、渡りの最盛期は異なる。昨年度の調査では 8 月 : 6 種 62 個体から 9 月 : 11 種 64 個体と、個体数に大きな変化は見られないが、種数が増加しており、8 月から 9 月にかけて緩やかな最盛期をもつと考えられる。今年度は 8 月 : 12 種 85 個体から 9 月 : 9 種 27 個体と種数・個体数が減少しているが、桁数に違いはなく、調査時の諸条件などによる誤差の範疇と考えられ、全般的な確認状況は例年通りと考えられる。

葛西人工渚ではスズガモ、森ヶ崎の鼻ではユリカモメの個体数が増加していた。スズガモ、ユリカモメは日本よりも高緯度の地方で繁殖し、日本へは越冬のため飛来する冬鳥である。秋から冬にかけて、日本で越冬する他のカモ類、カモメ類などの冬鳥の種数、個体数が増加すると思われる。

お台場海浜公園では第六台場、鳥の島の樹上で休息するカワウが確認されたが、繁殖活動が終了したため個体数は少なかった。鳥の島の護岸で休息するカワウは、幼鳥が多かった。

森ヶ崎の鼻に隣接する森ヶ崎水再生センターの施設屋上で、コアジサシの生息環境の保全・再生事業を行う「特定非営利活動法人リトルターン・プロジェクト」の web ページの情報によると、コアジサシの繁殖活動は 9 月上旬で終了した。(参考文献 6、7)。今回の調査では、森ヶ崎の鼻ではコアジサシなどアジサシ類は確認されなかった。



ミサゴ(葛西人工渚)

魚食性のワシタカ類で、空中からダイビングして魚を捕える。
波打ち際にはカワウ、ウミネコなどが休息する。



サルハマシギ(葛西人工渚)

干潟の泥にくちばしをいれ、ゴカイなどの小動物を捕食する。シギ類の1種。



カワウ、ゴイサギ、アオサギ（お台場海浜公園）
鳥の島の護岸で休息する。この他にダイサギ、コサギも休息する。



トビ（森ヶ崎の鼻）
干潟で魚の死骸をついばむ。

参照文献一覧

- 1 東京都環境局水環境課、平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 8 月鳥類調査 速報、http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/water/tokyo_bay/attachement/H250819%E9%B3%A5%E9%A1%9E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1.pdf、(2013/9/21)
- 2 東京都環境局水環境課、平成 24 年度 東京都内湾水生生物調査 9 月鳥類調査 速報、http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/water/tokyo_bay/attachement/H240904%E9%B3%A5%E9%A1%9E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1.pdf、(2013/9/21)
- 3 東京港野鳥公園、シギ・チドリの渡りについて、2011、<http://www.wbsj.org/wbsj-blog/yachoukouen/%e8%87%aa%e7%84%b6%e6%83%85%e5%a0%b1/%e3%82%b7%e3%82%ae%e3%83%bb%e3%83%81%e3%83%89%e3%83%aa%e3%81%ae%e6%b8%a1%e3%82%8a%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6/>、(2013/9/21)
- 4 yachoukouen、2013 年秋版「シギ・チドリ観察時刻表」、東京港野鳥公園、2012/07/10、<http://www.wbsj.org/wbsj-blog/yachoukouen/2012/07/10/2011%e5%b9%b4%e7%a7%8b%e7%89%88%e3%80%8c%e3%82%b7%e3%82%ae%e3%83%bb%e3%83%81%e3%83%89%e3%83%aa%e8%a6%b3%e5%af%9f%e6%99%82%e5%88%bb%e8%a1%a8%e3%80%8d/>、(2013/9/21)
- 5 yachoukouen、2013 年秋版「過去 3 年のシギ・チドリ観察記録」、東京港野鳥公園、2012/07/10、<http://www.wbsj.org/wbsj-blog/yachoukouen/2012/07/10/2011%e5%b9%b4%e7%a7%8b%e7%89%88%e3%80%8c%e9%81%8e%e5%8e%bb%3%e5%b9%b4%e3%81%ae%e3%82%b7%e3%82%ae%e3%83%bb%e3%83%81%e3%83%89%e3%83%aa%e8%a6%b3%e5%af%9f%e8%a8%98%e9%8c%b2%e3%80%8d/>、(2013/9/21)
- 6 littletern、9 月 8 日（日）第 17 回営巣地調査&デコイ回収、NPO 法人 リトルターン・プロジェクト、2013/9/8、<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20130908/13786538151>、(2013/9/21)
- 7 littletern、2013 年度森ヶ崎屋上営巣結果報告、NPO 法人 リトルターン・プロジェクト、2013/9/16、<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20130916/1379324219>、(2013/9/21)